

「鋼構造シンポジウム 2017」アカデミーセッション
第 25 回 鋼構造年次論文報告集 講演会
発表論文・報告(アブストラクト)募集

開催日：2017年11月16日（木）～17日（金）（予定）

主催：日本鋼構造協会

協賛：土木学会・日本建築学会・日本材料学会・日本船舶海洋工学会

（予定）日本風工学会、日本地震工学会・日本鉄鋼協会・溶接学会・日本鉄鋼連盟

場所：東京ファッションタウン(TFT)ビル9階（予定）

■本シンポジウムは土木学会 CPD プログラムに認定される予定です。

鋼構造年次論文報告集の刊行及びシンポジウムの開催

一般社団法人日本鋼構造協会では、1993年以來、毎年1回「鋼構造年次論文報告集」を刊行し、併せて鋼構造シンポジウム・アカデミーセッションとして掲載論文・報告の講演会を開催しています。また当日は35歳以下の若手を対象として、プレゼンテーション方法等を審査し表彰する「優秀発表表彰」も行っています。

2017年度も「鋼構造年次論文報告集（第25巻）」を刊行し、講演会を開催致します。以下の要領で募集致しますので、幅広い分野からの投稿をお待ちしております。

日 程 及 び 応 募 方 法

■日程

□アブストラクト投稿申込締切日・・・・・・・・・・2017年4月21日（金）

※アブストラクトは、「表紙」（1ページ）、「論文・報告要旨」（2ページ）の計3ページです。下記申込要領を十分ご確認ください。

□採否通知と原稿執筆依頼・・・・・・・・・・6月中～下旬（予定）

□完成原稿提出締切日・・・・・・・・・・7月下旬（予定）

□最終採択通知と発表依頼・・・・・・・・・・9月中旬（予定）

□シンポジウム開催・・・・・・・・・・11月16日（木）～17日（金）

・論文・報告が掲載された場合、著者のうち1名に鋼構造シンポジウム／アカデミーセッションにおいて講演を行っていただきます。

※発表者には「登録料」をお支払いただきます（年次論文報告集 CD 代金）。

※登録料の支払時期は、論文掲載確定後（11月頃）を予定しております。

◎＜登録料＞会員・非会員、一般・学生でそれぞれ登録料は異なります。

・第2種正会員および法人会員所属の個人：7,200円

・準会員：6,200円 ・学生（準会員）：3,100円

・非会員：12,300円 ・学生（非会員）：5,600円

※学生の方が会員になる場合の会費は、年間2,500円（入会金無料）です。協会発行の技術情報誌「JSSC」の年間無料購読、書籍の会員割引適用等、各種優遇措置がありますので、この機会に是非入会をご検討ください。

■投稿申込方法

□申込資格：問いません。

□著者：5名以内とします。

□申込件数：発表者1名につき、1題とします。

□申込期限：2017年4月21日（金）必着

□申込宛先：（電子投稿）E-mail：koukouzou-nenji@jssc.or.jp

（郵送）（一社）日本鋼構造協会鋼構造年次論文報告集編集委員会

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目15-8 アミノ酸会館ビル3階

□問合せ先：（E-mail：koukouzou-nenji@jssc.or.jp / Tel：03-3516-2151）

投稿対象及び投稿部門

■投稿対象

- ・対象は、鋼構造とその複合構造に関する独創的な研究や技術開発、創意工夫に満ちた設計・施工・維持管理に関する事例及びケーススタディー等の論文・報告とし、新規性・実用性に富み、技術的・工学的に価値のあるものとし、
- ・工事報告など、従来の学術論文の形式になじみにくかったものも対象としており、実務者の方々の投稿を歓迎します。
- ・ひとつの論文・報告はそれ自身で完結した体裁を整えているものとし、宣伝に偏した内容は避けてください。
- ・投稿論文・報告は審査付きであり、原則として未発表の内容に限りますが、下記の条件に該当するものは、既発表の内容であっても応募可能と致します。

□既発表であっても応募可能とする条件

- ・大会学術講演会、支部研究発表会等で発表したもの
- ・国際学会、コロキウム等で講演するために、その概要または講演論文として発表したもの
- ・大学の紀要、研究機関の研究所報及び会社技報などに発表したもの
- ・国、自治体、業界、団体からの委託研究の成果報告書
- ・既発表の論文・報告を統合・再編成し、新たな知見を加えてレベルアップしたもの

■投稿部門

- ・投稿部門は次の21部門とし、投稿申込時に希望部門を選択するものとし、
【1】材料 【2】耐荷力 【3】骨組 【4】接合部・継手 【5】部材 【6】床板 【7】橋梁一般・構造景観
【8】吊構造 【9】合成・複合構造 【10】構造解析 【11】設計 【12】施工 【13】製作 【14】振動・制振・耐震
【15】疲労・破壊 【16】腐食・防食 【17】補修・補強 【18】維持管理・マネジメント 【19】環境・LCA
【20】計測・検査・モニタリング 【21】その他

アブストラクト作成要領

次の要領に従って「表紙」(1ページ)および「論文・報告要旨」(2ページ)の計3ページを作成し、投稿用アドレス(koukouzou-nenji@jssc.or.jp)にお送り下さい。なお下記の要領項目に関する記述が不適切、あるいは不明確な内容であった場合は、登載可否の審査対象外となる場合があります。

■「表紙」ページ(1ページ)の作成要領

- ・JSSC ホームページ(<http://www.jssc.or.jp>)に掲載されている「表紙」記入フォーマット(A4縦置)に指定されている事項を下記に従い記入して下さい。
 - (1) 希望投稿部門(投稿部門【1】～【21】) ※上記を参照
 - (2) 分野の区分(①土木, ②建築, ③土木・建築共通, ④造船・海洋, ⑤その他)
 - (3) カテゴリー(A論文 or B報告)
(カテゴリーAは学術的観点から、カテゴリーBは技術的観点から審査されます。)
 - (4) 論文・報告題目(和文題目と英文題目を併記)
 - ・論文・報告題目は、和文30文字以内、英文20 words以内とし、副題、(その1)・(その2)、商業宣伝となる用語、等の使用は認められません。
 - (5) キーワード(3～5個)
 - (6) 論文・報告原稿 使用言語(和文もしくは英文)
 - (7) 著者名(著者数は5名以内、氏名は日本語・英語表現を併記し、各々の所属と当協会の会員種別を付記して下さい。会員種別は、“第2種正会員”、“準会員”、“準会員(学生)”および“法人会員(所属の個人)”のいずれかとし、(非会員の場合はブランク。))なお発表者には欄に○印を付記して下さい。あわせて発表者が投稿時点で35歳以下であれば欄に○印を付記して下さい。
 - (8) 代表者名(氏名・フリガナ・所属先・連絡先住所・電話番号・ファックス番号・電子メールアドレスをご明記下さい。)

- ・ 申込受理以降の連絡（審査結果通知等）は、代表者にのみ致しますのでご注意ください。

(9) 「a)新規性」、「b)実用性」のどちらか一方（両方でも可）を 400 文字以内で必ず記載して下さい。（英文の場合は 200～300words 程度）

■「論文・報告要旨」（2 ページ）の作成要領

- ・ 論文・報告要旨は 2 ページ（A4 縦置、横書、それ以外の書式は自由）で、タイトル、著者名（著者所属）を最初（上部）に記載の上、論文・報告内容の概要として、(i) 目的 (ii) 方法 (iii) 結果と考察 (iv) 結論 の 4 項目に関わる内容を、参考図等を加え、具体的に分かりやすく記述して下さい。

申込要領

■ データ形式

- (1) 原稿は、Adobe Acrobat 4.0 以上を用いて変換された PDF ファイルで、「表紙(1 ページ)」と「論文・報告要旨(2 ページ)」の計 3 ページを 1 ファイルとして提出してください。ファイルサイズは 2MB 以内としてください。これを超えた原稿は受けられません。また、投稿するファイルは PDF 形式とし、圧縮ツールは使用しないでください。
- (2) PDF 化にあたっての解像度の設定についての制約は設けません。図・表・写真等を原稿に張り付けた状態で上記のファイルサイズ以内に納まるよう、執筆者で自由に設定してください。ただし、画像データ（図・写真）を含む場合、PDF ファイルに変換することにより、出力品質が劣化することがありますので、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は 600～1200dpi 程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像（写真等）の解像度は 300dpi 程度が目安となります。
- (3) 本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色の制限はありません。
- (4) PDF ファイルにファイルロック等のセキュリティやパスワードの設定を絶対に行わないでください。また、何らかのトラブルで原稿（PDF ファイル変換前の原稿）を別途提出していただくこともありますので、原稿ファイルは削除しないで必ず保管しておいてください。

※PDF ファイル読みとり専用の Acrobat Reader では PDF ファイルに変換することはできません。

※PDF 化の際にエラー等が発生した場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページ (<http://www.adobe.com/jp/>) をご参照ください。

■ 書式設定

原稿で使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Macintosh
日本語フォント	MS 明朝または MS ゴシック	細明朝、中ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック
英字フォント	Symbol、Times、Times New Roman	

注意事項

※和文フォントに関しては、パソコンの機種等により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使いください。特に Windows をお使いの場合は、人名辞書にはあるが第二水準に無いような文字（高、崎 など）がありますので注意してください。機種／フォントに依存する特殊文字（①、②、Ⅰ、Ⅱ、m 等）、半角カタカナおよび半角「、」、「。」、HG 系フォント、修飾文字は機種によっては文字化けしますので、別の文字に置き換えてください。これらの制約は異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要となります。

■ 申込方法

件名に「鋼構造シンポジウムアブストラクト送付」と明記し、アブストラクトの PDF ファイルを添付し、下記項目をメール本文へ記入の上、投稿用アドレスまでお送りください。

<投稿用アドレス>koukouzou-nenji@jssc.or.jp

＜メール本文への記載事項＞

- 1) 希望投稿部門および分野、希望カテゴリー
 - 2) 和文題目と英文題目
 - 3) 代表者氏名、連絡先住所、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス
- ※添付ファイルのファイル名は指定しませんが、必ず拡張子 (.pdf) がついているファイルをお送り下さい。

(電子メールでの投稿が困難な場合は、郵送での投稿も受け付けます。前述のアブストラクト作成要領に従って作成したアブストラクト(3ページ)をA4片面に1部印刷し、本募集案内1ページ目下部に記載してある申込宛先(郵送)までお送りください。)

■申込確認

要旨を受理次第、送信者に受領メールを返信いたします。なお、送信したにもかかわらず2017年4月28日(金)までに返信がない場合は事務局まで電話にてご連絡ください。

完成原稿について

- ・ 申込まれた論文・報告要旨は、査読審査の上、採否の結果を2016年6月下旬にご通知致します。
- ・ 採択となった場合には、採択通知とともに原稿執筆要領をお送りします。
- ・ 完成原稿の提出期限は、2017年7月下旬(予定)とさせていただきます。
- ・ 完成原稿は電子メールにて提出していただきます。
- ・ 提出された完成原稿と先に提出された要旨との照査を行います。これによる採否の判断は鋼構造年次論文報告集の編集を担当する「年次研究発表会小委員会」にご一任いただきます。

登録料

- ・ 第2種正会員および法人会員所属の個人：7,200円
- ・ 準会員：6,200円
- ・ 学生会(準会員)：3,100円
- ・ 学生会(非会員)：5,600円
- ・ 非会員：12,300円

年次研究発表会小委員会委員名簿

＜委員長＞

中村 聖三 (長崎大学)

＜副委員長＞

吉敷 祥一 (東京工業大学)

＜委員＞

虻川 高宏 (株)長大	宋 勇勲 (川岸工業(株))
大家 貴徳 (株)巴コーポレーション	竹内 正一 (日本橋梁(株))
小野 喜信 (株)竹中工務店	辻井 正人 (新日鐵住金(株))
神原 康樹 (中央復建コンサルタンツ(株))	内藤 理基 (JFEスチール(株))
岸 祐介 (首都大学東京)	中田 信治 (旭化成ホームズ(株))
小林 裕輔 (宮地エンジニアリング(株))	長山 智則 (東京大学)
小松 正貴 (株)日本構造橋梁研究所	林 政輝 (株)NTTファシリティーズ
齊藤 史朗 (株)IHIインフラシステム	前田 憲太郎 (北海道科学大学)
佐藤 篤司 (名古屋工業大学)	松下 政弘 (株)神戸製鋼所
澤田 樹一郎 (鹿児島大学)	松村 政秀 (京都大学)
島田 侑子 (千葉大学)	松本 茂己 (株)神戸製鋼所
鈴木 啓悟 (福井大学)	山田 耕介 (株)アロイ
鈴木 康夫 (京都大学)	渡 辺 仁 (株)久米設計)

2017年2月現在